

理想像 (ゴール)

永田外  
(利用調整)

永田内  
(内部の体制)

現状

まずは内部の体制を整えることが重要

エコツアー条例が大部分を解決？  
現在、進行中。  
永田だけで進められるものでない。

近年が大きな転換期か。

# 現在の課題概要

## 永田内

専門家・後継者不足による、  
保護活動継続の危機

### 【NPO法人屋久島うみがめ館】

- ・資金問題
- ・労働力不足
- ・後継者不足  
(解散)

### 【永田ウミガメ連絡協議会】

- ・専門家不足 ←
- ・レクチャーの質の向上
- ・安定した運営
- ・区への還元

### 【その他の永田区民】

- ・ウミガメ保全活動への理解・協力

## 永田外

利用増大による、  
産卵環境への負担増加

### 【島民（永田区以外）】

- ・ウミガメ保全活動への理解・協力

### 【観光客】

- ・ルールの遵守
- ・ウミガメ保全活動への理解・協力

## 永田浜・ウミガメ

- ・ウミガメ産卵環境の負荷増加
- ・産卵率・ふ化率の低下
- ・ウミガメ生息数の減少

# 永田浜に関わる内部の体制について

## 【永田浜ウミガメ保全協議会】

行政による事業実施・保護柵の設置や撤去・

保全協議会の開催・観察ルールを検討・地域ルール理解のための情報発信

## 【永田連絡協議会】

行政による事業実施・保護柵の設置や撤去・

保全協議会の開催・観察ルールを検討・ウミガメ繁殖期における観察会の実施

## 【うみがめ館】

調査研究・環境教育対応・遮光林管理・ウミガメの救出・流出卵の移植・  
砂中及び海中温度モニタリング・浜の利用者モニタリング・資料館の運営  
・行政による事業実施・保護柵の設置や撤去など

※今年度報道された「うみがめ館解散」が起こった場合、この部分はなくなると考えられた。

## 第2回保全協議会 議事2) ④で決定したいこと

- 永田浜ウミガメ保全協議会の現状認識の統一
- 関係機関が意識を刷新し、ウミガメ・永田浜の保全活動への関わりを強化することの確認



### 次回以降の動き（予想）

- 保全事業についてリストアップ
- 各事業について検討し、今後展開していく必要のある事業の選定
- 喫緊の課題について優先事項の検討、解決方法の検討
- 現在実施している事業内容の見直し
- 主にどの機関が何の事業を負担するのか割り振り
- （最終的な保全活動の目標の策定）

# 来年度以降の動き（修正）

